

「ヨハネス・フェルゼンシュタインは冒頭から観客を虜にする非常に良く練った演出を試みた。アンサンブルの素晴らしい演奏はまさにセンセーションと言えよう。合唱の見事さもその一端を垣間見た」
（ベルリン・テルランボスト編／1998年10月）

ANHALTISCHES THEATER DESSAU **SALOME** RICHARD STRAUSS



出た! 鬼才フェルゼンシュタイン禁断のサロメ!

《ドイツ・ザクセン＝アンハルト歌劇場》

楽劇「サロメ」全曲

舞台:オスカーワイルド 作曲:リヒャルト・シュトラウス



世界最高のサロメ、
女神エイラーナ・ラッパライネン登場!

美と官能、恐怖と陶酔、罪と罰の一大力タルシス。

オペラの長い歴史の中でも、「サロメ」ほど常にセンセーションを巻き起こす作品はない。紀元30年ごろ、シリアの宮殿という舞台で演じられるのは、絶世の美女リロメと予言者ヨハネンを中心とした恐るべき恋愛劇であり、ドイツ・ロマン派最後の作曲家リヒャルト・シュトラウス(1864-1949)の魔術的な大オーケストラがエキゾチックな興奮をいやが上に高めて行くからだ。



上演に際しては、特に歌唱、演技、舞踏の全てを要求されるサロメ役が華麗で、複雑な管弦楽法も相まって、どのオペラハウスでもプライドを賭けた目玉公演とするのが普通である。

今回の「サロメ」は、フェルゼンシュタインの代表的な制作の一曲で、有名な画家でもあるフリードリッヒ・クラスカの幻想的な舞台美術、新鋭デザイナー、シュテファン・スタニジックの輝く衣装、ダンシング・アーティスト、リカルド・フェルナンドのダイナミックな振付など、1996年のブリミット当初から極めて高い評価を得ていている。

殊にエイラーナ・ラッパライネンを始めとする女声陣の艶やかさは圧巻で、有名な「十つのベル」の踊りも全て吹き替えなしで見事に演じきっている。

現在、世界で観ることが出来る「サロメ」最高の舞台の一つである。

アーティスト、リカルド・フェルナンドのダイナミックな振付など、1996年のブリミット当初から極めて高い評価を得ていている。

殊にエイラーナ・ラッパライネンを始めとする女声陣の艶やかさは圧巻で、有名な「十つのベル」の踊りも全て吹き替えなしで見事に演じきっている。

現在、世界で観ることが出来る「サロメ」最高の舞台の一つである。



ズラリ、世界中で活躍する実力派ソリストが織りなす素晴らしいアンサンブル!



Ludmil Kuntzsch ルドルフ・ クンツェフ (ヨカーネン)	Ilona Streinberger イロナ・ シュトライトベルガー (ヘロディアス)	Hans-Dieter Baier ハンス・ディーター・ バーダー (ヘロデ)	Randall Reid-Smith レンダル・ レイドースミス (ナラボート)	Jana Frey ヤーナ・フライ (小姓)	Frank van Hove ファン・ホーフェ (ナザレ人)	Mark Recusal マーク・ ローゼンタル (ユダヤ人)	Kasudin Arguine コスタイン・ アルキロフ (兵士)
--	--	--	---	------------------------------	--------------------------------------	--	--

舞台デザイン
(フリードリッヒ・クラスカ)



この公演では、オーケストラは舞台上に位置する特殊な演出となっております。

神々のディーヴァ、
エイラーナ・ラッパライネン初来日!
Eilana Lappalainen

カナダのトロントにフィンランド人を両親として生まれる。
カリフィルニア州立大学で声楽を専攻、レナー・スコット、リチャード・アルバニゼ、リタ・バターニにも師事し、サンセイ・オペラでデビュー。
豊かな声質と元気なガリフィルニアの美貌で多くの注目を集めます。
フェルゼンシュタインとの運命的な出会いを経て、1993年以降ドイツ・ザクセン＝アンハルト歌劇場で中心的な役割を果たすかたわら、ハンブルク国立歌劇場、ベルリン・コマッショーバー、ミラノ・スカラ座、モンテカルロ歌劇場等世界の一連舞台で主要な役柄に出演。特に日本演劇界では、日・シュトラウス、ワーグナー、ヴェルディ、ブッチーニ等での美しいヒロインは比類がない。

ドイツ・オペラの本流、天才演出家
ヨハネス・フェルゼンシュタイン!

Johannes Felsenstein

ベルリン生まれ。
20世紀最大の演出家の一人ウルクー・フェルゼンシュタインの長男。
東ベルリン音楽大学で演出を専攻、父が創設したベルリン・コマッショーバーでゴットリム・ヘルツ、ゲツ・フリードリッヒ、ハリー・ウッカーフ等に師事。1974年コマッショーバーで演出レビュー、以来ベルリンを中心に、ダルハシュタット、カールスルーエ、ライプツィヒ等で数多くの演出を手掛け。オリンピック記念イベントの演出や音楽大学でのセミナー、国際会議等世界的に巡回。1991年ドイツ・ザクセン＝アンハルト歌劇場の芸術監督に就任。伝統と革新を見事に調和させた舞台で高い評価を得る。

新世代オペラ指揮者、
表現伶俐派ゴロー・ベルク33歳!

Cole Berg

ワーミール生まれ。
フランス・リスト音楽院で指揮、ピアノ、ヴィオラ、声楽、作曲を学び、在学中から現代音楽専門の室内管弦楽団を組織して活動を開始。
1991年の卒業以後、マッケンブルク国立歌劇場、ホーフ山立歌劇場の音楽監督を歴任。ドイツの主要な放送交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等にも客演として高い評価を獲得する。
ドイツ・ザクセン＝アンハルト歌劇場には2000年に客座指揮者に就任された。
ロレン・マギル、スティエル・ギーレン、ゲルト・アールベート、フランス・ブリュッヘ等に師事。

ワーグナー、クナッパー・ツッシュの
伝統が息づくゲルマン・サウンド!
ドイツ・ザクセン＝アンハルト・
フィルハーモニー管弦楽団

Anhaltisches Philharmonic

1700年ザクセン＝アンハルト伯の宮廷管弦楽団として首都ツツジンに創設される。
特にワーグナーとは関係が深く、1876年バイロイト音楽祭の開幕に際しては祝典管弦楽団の中心メンバーを構成した他、「路線」を始めるとする永遠の高い演奏で、劇場は「北のバイロイト」と評された。歴代指揮者は、フリードリッヒ・シュナイダー、ハレス・クナッパー・ツッシュ、フランス・フォン・ヘスリ、クリスティアン・アルトゥール・ローター等歴史の巨匠が名を遺す。近年はアラン・フランシス、ダニエル・リップツ、カルロス・カルマ等若手を起用。オペラ、シンフォニー・コンサート、メンバーによる多くの室内楽等活発な演奏活動を行っている。